



こうほう

— 新春特集号 —



DENET

デンネット“DENNET”は電気 (Denki) 工
事業で固く結ばれた協同集団 (Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 157号

令和5年 (2023年) 1月1日

石川県電気工事工業組合

月うさぎ神社（月うさぎの里）《加賀市永井町》

むか～し昔、江戸時代の頃、大聖寺藩（現：加賀市）の永井村に、島見徳兵衛という優しいお役人がおりました。

ある日のこと、徳兵衛は村の田畑にて傷付いた白いうさぎを見付けて、看護して助けてあげました。

その秋になり、この加賀一帯は毎日、異例の大雨が続き、このままでは田んぼが洪水に見舞われ稲が全滅してしまいます。と、そんなある晩、徳兵衛のもとに、あの白うさぎが現れました。すると、さっきまで降りしきっていた雨は、いつしか止み夜空には煌々と輝くお月さまが。そして、その年の村一帯は何年ぶりかの大豊作に恵まれたということです。それ以来、この辺りでうさぎは月を呼ぶ…『運（つき）』を招く月うさぎと、永く親しまれています。

と言う事で、うさぎは元来、縁起の良い生き物として有名ですし、月うさぎの里にあるうさぎ広場には約10種類の40匹ぐらいのうさぎ達が遊んでおり、色々なうさぎを抱いたり、大人気のごはんあげができたりと触れ合えて癒されます。♡

そして、うさぎ広場内にある“ツキを呼ぶ”月うさぎ神社には、狛犬（こまいぬ）ならぬ白・黒の狛兎（こまうさぎ）が見られる時があるかも～!?

（※あと、かわいいうさぎグッズがある、日本最大級のうさぎショップもあります。）

目 次

年頭のごあいさつ	1
米沢理事長（全日電工連会長）旭日重光章受章	10
ことしの“誓い”「年男は語る」	11
各賞受賞者	11
各本部だより	14
青年部だより	18
各本部青年部だより	19
第4回 電気工事技能競技全国大会	21
第5回 全国青年部会員大会	23
第5回 北陸電工連青年部連絡協議会 会員大会	24
組合事務局日誌	



「街の電気ドクター」 地域の持続的発展に貢献を

理 事 長 米 沢 寛



新年あけましておめでとうございます。皆様にはおそろいでお健やかに新しい年をお迎えになられたことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

企業にとっても業界にとっても新年は「技能の向上」を目指すおおきなスタートです。年が改まった今、その課題を再確認し組織をあげて取り組む体制をより明確にすべきと思います。

技術開発が日々急激に進化し新商品の開発も著しいなか、電気の第一線にたつ我々は進化を遂げる技能に新たな取り組みが求められています。特にデジタル改革の進展は急速であり目を見張るものがあります。そうした中で旧聞になりますが「その技術は未来を救う！」をテーマに「第4回電気工事技能競技全国大会」が会場を横浜アリーナに移し開催されました。きわめて時宜を得たテーマであったと思います。

熱い戦いが繰り広げられ2014年に第1回を東京・蔵前国技館で開催してから電気工事士の甲子園を目指して第4回を迎えました。遠い先の話とと思っていた目標に一步步近づきつつあるのは誠に喜ばしい限りです。回を重ねた今回は一般の部は各県電工組の代表1名に加え組合員数に応じたブロック代表の選手6名の計54名に、女性の部は各ブロックより1名の計9名、高校生の部についても9名が電気工事業界の将来にむけ人材確保、

実業教育の振興をめざす目的からその成果を期待しています。回を重ねるごとに72名の参加を数えました。

技術の向上は積み重ねることが大切です。日頃の仕事の基本は「モノづくりを考えている」。参加者の増は技術がレベルアップするためにも大切なことであり、選手を送り出す各県工組にとっても貴重な機会です。モノづくりの基本を忘れず、きっちり仕事を積み重ねていくこと」につきますと思いますが、もう一つは業界の一人一人が「現場の目線」を大切にしながら希望を抱いて新技術の開発に挑んでいかなければなりません。

さらに新年にあたり夢を持って挑戦したいもののひとつに「空飛ぶクルマの」開発があります。欧米ではすでに機体開発が商業化の手前まで来ているようですが、離発着場や空域管制、充電機器などの地上設備の開発は道半ばです。2025年の大阪・関西万博で空飛ぶクルマの飛行を狙う日本でも、ようやく地上設備に関心が集まっています。

どんなに素晴らしい機体が開発されても、安くて安全な離発着場（バーデイポート）が町中になれば運行は実現しません。実現までいくつかの課題も残されています。電気工事業界にとっても大きな初夢であり、一步步前進したいですね。

本年もご指導のほどよろしくお願い申し上げます。





新年を迎えて

北陸電力株式会社
執行役員 石川支店長

木村 博喜



新年明けましておめでとうございます。

石川県電気工事工業組合の会員の皆様におかれましては、健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より北陸電力グループの事業運営に格別のご理解をいただき、電力の安定供給にご尽力いただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、自然災害により全国各地で被害があり、石川県内でも6月に珠洲市で震度6弱の地震による建物倒壊、8月には記録的大雨により小松市を中心に浸水被害が出るなど、住民の方々の生活に大きな影響がありました。幸いにして、大規模な停電被害に至りませんでした。貴組合の皆様には、事前の準備を含めて安定供給への対応に感謝申し上げます。

さて、電力需給の状況ですが、昨夏に続き、今冬も、みなさまに節電をお願いすることとなりました。ウクライナ情勢による国際的なエネルギー市場のひっ迫、今後の気象影響や大型電源のトラブルなどを考慮すると大変厳しい状況ではありますが、燃料の安定的な調達や設備保全に対応し、電力の安定供給に万全を期してまいります。

ご心配をおかけしている志賀原子力発電所ですが、規制委員会が現地調査に入り、実際の断層や地質データを直接確認していただきました。今後の審査においても断層の活動性を丁寧に説明するとともに、新規制基準への適合性確認審査に的確に対応し、安全対策工事を着実に進め、早期再稼動を目指してまいります。

カーボンニュートラルについては、2030年に発電に占める非化石電源比率を50%以上とする目標に向け、推進体制を整備するとともに、北陸地域の豊かな水資源を活用した水力電源100%の電気料金メニューや太陽光発電PPA、エネルギー設備受託、再生可能エネルギーの地産地消など、CO₂排出量削減に資するカーボンニュートラルサービスを提供し地域の脱炭素化を目指してまいります。

また、北陸電力グループの持続的な成長に向けて、既存事業領域の拡大と新たな事業領域の創出に取り組むとともに、新規事業を軌道に乗せ、事業の利益確保を図ってまいります。バイオマス燃料（ブラックペレット）の製造・販売企業への出資やDX分野への事業展開など、北陸電力グループ全体で収益性向上を図ってまいります。

電気事業を取り巻く環境は激変しておりますが、この大きな変革を機会と捉え、果敢に挑戦してまいります。そして「電力を安定的にお届けする」「地域の発展に貢献する」という北陸電力グループの変わらぬ使命を、グループ一体となって果たしてまいります。

貴組合の皆様には、これまでと変わらず、お客さまと当社を結ぶ大切なパートナーとしてご支援、ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、貴組合の益々のご発展と、組合員、従業員ならびにご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

北陸電力送配電株式会社
執行役員 石川支社長

川 島 渉



謹んで新春をお祝い申し上げます。

石川県電気工事工業組合の会員の皆様におかれましては、幸多き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当社の事業運営につきまして、格段のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月に珠洲市で震度6弱の地震、8月には記録的豪雨により小松市を中心に被害を被るなど、石川県内において自然災害が立て続けに発生しました。幸いにも大規模な設備被害には至りませんでした。貴組合の皆様には早期復旧にご尽力をいただき厚く感謝申し上げます。当社は、北陸電力とともに各自治体と災害時の連携に関する協議を進めており、今年度中には石川県内全ての自治体との協議が整う見込みとなっております。また、激甚化する自然災害の対応として、全国大の電力間応援を再構築してプッシュ型で派遣する体制も整えているところであります。地域の生活・発展を支えるライフラインを守る事業者として、皆様とともに引き続き電力の安定供給、設備保全に努めてまいりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当社を取り巻く事業環境は、送配電設備の高経年化に伴う改修物量の増加、人口減少や省エネの進展による電力需要の将来的な減少の見通しなど、大変厳しいものとなっております。また、カーボンニュートラルの実現に向け、再生可能エネルギーの大量導入に資する送配電網の次世代化・高度化に的確かつスピーディーに取り組んでいく必要がある一方、2023年度からは国の新たな託送料金制度として「レベニューキャップ制度」が導入されます。新制度における重要項目の一つである

高経年設備の対策工事は、事業計画に合わせて着実に工事を実施していくことが重要です。今後、増加していく更新工事を貴組合の皆様と共に計画的かつ効率的に、そして安全に進めてまいりたいと考えておりますので重ねてのご支援をお願い申し上げます。当社は、「安全最優先」、「安定供給」、「お客さまからの信頼」、「公平・中立・透明な業務遂行」等変えてはならない当社のDNAはしっかりと継承・深化させる一方、世の中の大きな変化に着実に対応し、新たな発想や工夫を積極的に取り入れ、「改革」と「創造」にも挑戦してまいります。

次に作業安全についてですが、至近年の労働災害件数は増加傾向であり、更に誠に残念ながら低圧ゴム手袋未着用や作業員単独での活線作業の実施等、基本ルールの不遵守による不安全行為も連続して発生しており、死亡災害にも繋がる極めて危機的状況にあると認識しています。これらは、「基本ルールの無視」や「なぜそのルールになっているのか、という事への無理解」によるもので、安全に関するルールは、過去の失敗に基づく業界大の決め事であり、皆様の安全を守るノウハウであります。そしてこれらは、業界の発展のためにも極めて重要です。災害発生の連鎖に、旧年の終わりとともに終止符を打ち、新しい年は皆様とともに思いを一つにして「労働災害撲滅」を目指してまいりたいと思います。

最後になりましたが、本年も安全活動の推進と施工品質の向上を積極的に展開していただき、貴組合の益々のご発展と、組合員、従業員ならびにご家族皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。





新年を迎えて

副理事長兼
理事長代行兼
加南本部長
(配電担当)

今 出 真 稔



新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆さま方におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和5年の年頭にあたり、皆さまに一言ご挨拶申し上げます。

昨年を振り返りますと、コロナ禍・ウクライナ情勢・流通遅延からの半導体不足による工事材料の納入遅延や高騰が見られ皆さまの事業に大きな影響があったものと思います。少しずつ回復の兆しは見えてきたようにも感じますが、日本経済は電気料金などを始めとする物価の値上がりにより歯止めが掛からない様相でもあり本来の体制に戻るにはまだまだ予断を許さない状況下であります。そのような時期に不意に訪れた大雨により被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。

配電工事においては、将来の北陸電力送配電様からの発注量は不透明な状況にあります。しかしながらライフラインを支える我々の使命は揺らぐことはなく、施工品質・生産性の向上、配電工事従事者の人財確保に努めつつ、設備投資も継続し、より強靱な経営管理体制を維持していくことが不可欠であります。

また、配電委託工量単価につきましては、毎年の見直し改定が行われておりますが、項目毎の工量点数の増加に向けた改定も含め引き続き強い思いを込めて北陸電力送配電様と協議を深めて参

りたいと考えています。

一方で、電気工事業界としての慢性的な電気工事作業員不足は継続しており、作業員の高齢化対策・若手の育成や施工体制の見直しなどにも精力的に取り組む必要があります。

このような環境で新年を迎えましたが、ことしは「癸卯（みづのとう）年」です。卯（うさぎ）は穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦する最適な年とされています。まさに成長へのリスタートとするに相応しい一年であり、あらゆることに果敢に挑戦し邁進する一年にしたいと思っております。

今年も、安全最優先を忘れずに今一度緊張感を持ち、基本ルールを順守し安全作業に努めていただきたいと思います。

私自身におきましても気を緩めることなく積極的に組合活動に取り組んで参りたいと思います。今一度、皆さまに更なるご理解とご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も良い年となるよう、石川県電気工事工業組合員が一丸となってがんばっていきましょう。





電気工事業のこの先10年

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣健英



令和5年を迎えるにあたって最初に令和4年秋の叙勲において当組合の米沢寛理事長が旭日重光章を受章されました。長年に渡り石川県電気工業組合の理事長ばかりでは無く全日本電気工業工業組合連合会の会長をも10年余り勤め、この間電気工事技能競技全国大会の開催や全国各地での災害派遣等々と卓越した統率力で電気工事業界の発展に寄与された事に対しての受章とお聞きしています。

さてこの叙勲についてお話しします。

叙勲には旭日章と瑞宝章の2種類があります。

旭日章・・・顕著な功績をあげた人に授与

瑞宝章・・・公共的な業務に長年従事した人に授与しそれぞれ6段階に区分されています。

単光章・双光章・小綬章・中綬章・重光賞・大綬章です。旭日大綬章者には国会議員で尚且つ両院の副議長経験者、最高裁判事経験者、電気通信事業に関わり各種審議会委員経験者、国会議員として大臣経験者（令和4年秋受賞者経歴）旭日重光賞では国会議員で各種審議委員、各振興功労者等として米沢寛氏は産業振興功労で過去に藍綬褒章を受章された事も加味されたと思われます。秋の旭日重光賞受賞者の数は13名で授与式は宮中において天皇陛下御臨席のもと内閣総理大臣から授

与されます。

改めて米沢理事長の旭日重光賞を受賞された事にお祝い申し上げます。

電気工事業のこの先10年について

現在の組合員数は新規加入者も増えますが廃業される組合員も出て相対的には大幅な増加は見られないと思われます。電気工事が未来に亘って絶対なくならない事は衆目の一致する事ですが過去、現在の純然たる電気工事から多種に広がる電気工事業では、組合員は日々進化をしなければ淘汰される時代に入ると思われます。一般電気工事の住宅建設数の減少は顕著です。代わって増加するのは太陽光発電や風力発電等の産業電気、IT関連の電気設備、建築電気でも資格をしっかりと持たなければ置いて行かれる時代になります。組合員は事業主を先頭に社員も含め各種の資格講習に参加して資格を取得して進化する事が必要です。常に新しい技術の情報に目を向け対応する事が絶対必要要素となります。

組合員は3年先、5年先、10年先の未来を描き、時代に淘汰されない会社を作っていくことが必然になります。





故日向捷久さんを偲んで

副理事長兼
金沢本部長
(総務担当)

柚 木 賢



新年明けましておめでとうございます。組合員の皆様方におかれましては、健やかな新年を迎えられたと思います。又昨年は、我が石川県電気工事工業組合理事長の米沢寛が、旭日重光章を受章され、我々組合員一同本当に誇りに思う次第であります。

さて、昨年の広報では上村彌壽男前理事長の思い出を書かさせていただきましたが、今回は令和2年1月9日に亡くなられた日向捷久前副理事長についてお話ししたいを思います。

皆様もご存知の通りその豪快な人柄は、誰からも慕われた親分肌であり、またとても面倒見がよく別け隔てなく我々組合員、後輩たちを可愛がっていただきました。私の一番の思い出は、当時金沢本部長であった日向さんが、金沢本部内にオール電化事業に特化した環境開発部を設立したことです。その時私を初代部長に任命していただいたのも日向さんでした。活動内容としましては、オール電化製品、IHクッキングヒーター、温水器、エコキュート、の普及拡販でした。当日北陸電力リビングサービス様をはじめ各メーカー、親組合の皆様の御協力で展示会、オール電化フェアを行いました。回を重ねるごとにその規模は大きくなり産業展示館を貸し切って行うこともありまし

た。今では当たり前のIHやエコキュートが、エルフナイト等の電力プランが追い風となり、それらのオール電化機器が、飛ぶように売れ、今では、それが懐かしい思い出となっています。しかし2011.3.11の大震災後その勢いはなくなりその翌年、環境開発部は、解散となりました。

又、旅行やゴルフ好きが集まった、日向会？なるグループがありまして、アルファ電装上野さんが運転するレンタルバスに、ゴルフバック、アルコール、人間をカッツメてのゴルフ遠征は、とても楽しいものでした。今後、日向さんのような方に出会うことはないでしょう。お酒、ギャンブル、片町が大好きだった日向さん。我々電気業界の為、昭和、平成、令和と力強く生き抜いた日向親分にあらためて、哀悼の意を申し上げます。ありがとうございました。



ことしの誓い

「年男は語る」



(敬称略)

金沢本部



テルオ電設

寺内 照雄

新年明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、健やかに令和5年卯年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私も現世に生を受け、6度目の年男を迎えるにあたり高齢者の年男としてももう少し兎にちなんで、年相応にピョンピョンと跳ねてみたいと思っています。

今後は、コロナ感染第8波に入っている認識の元に感染症対策を万全に、私の残された余生を電気工事業に捧げたいと思います。但し、高齢者として、安全対策を基本とし、今迄培ってきた「安全の確保は規程の遵守及び執務の厳正から始まり不断の修練によって築きあげられる」を胸に、目は遠山を望むが如きに歩んでみたいと思います。結びになりますが、組合員皆様方の益々のご健勝とご活躍を御祈念申し上げまして年男の抱負とさせていただきます。

(昭和26年1月20日生 71歳)



零電気工事

北村 弘一

電気工事を営み、いつの間にか72歳になります。現場では他職種も含め60代以上の方も多くかなりの高齢化を感じます。高齢になるほ

ど身体能力は劣り、脚立での作業も慎重になり、梯子での作業では恐怖心が頭をよぎる事もあり、無理は出来ないと感じています。私は主に住宅の屋内配線に携わり、当初の施工方法と今ではかなり変わってきて、例えば結線などは、リングスリーブでの圧着、絶縁テープ巻でしたが、今は差し込みコネクターを使用し、時間短縮に一役買っています。しかし電気工事で優先すべきはスピードではなく、いかに安全で確実に施工するかが大前提です。これは私が見習い時に先輩から言われた事ですが、最近特に心掛ける様になりました。自分の衰えが分かってきたのでしょうか、これからも初心忘れずに頑張りたいと思います。

(昭和26年5月23日生 71歳)



宮島電興(株)

宮島 邦光

新年あけましておめでとうございます。

早いもので今年60歳、「還暦」を迎えます。確かに体力、能力的に年を感じることが多々ありますが、気質はそう変わるものではないように感じます。

18歳で腰道具をして、38歳で会社を継承してから、この業界で40年余り、いろいろな方々に支えられ、助けていただいている事をますます感じています。

この業界の仲間にはプライベートでもお世話になり、一生のお付き合いができる宝物と思っています。

人生100年時代と言われると、まだまだ精進、努力してまいりたいと思いますので、これからも変わらぬお付き合いをお願いいたします。

組合員皆様方のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

(昭和38年5月16日生 59歳)



(株)鳴和電気商会
宮下 誠次

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられましたことをお喜び申し上げます。

さて私も今年の8月には60歳の還暦を迎えることになりますがまだ実感がありません。ただ2年前から個人年金の支払い案内の通知が来たりして、世の中が勝手に還暦へと引き込もうとしているとさえ思っていました。ただ二人の孫の爺ちゃんとなり、時は確実に進んでいるんだなと思うようになりました。

「六十にして耳順う」と言われますがまだまだそんな立派な大人には程遠いと思います。残り僅かな50代を精一杯、楽しみたいと思います。ただ体重だけは既に60代なので健康に気を付け楽しめます。

(昭和38年8月26日生 59歳)



(株)菱輪電装
田中 覚

新年あけましておめでとうございます。

皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。

気付けば今年でもう60歳、毎年の事ながら1年が加速して過ぎてゆくと感じるのは私だけではないと思います。

弊社は組合に加入させていただいていますが、主力は制御盤製造です。昨年初頭あたりからコロナの影響もあり、原材料・部品等の入手難、価格高騰が続いています。

今まで味わったことのないような、異常ともいえる状況下で仕事もうまく進まず頭を悩ますことが多かったのですが、気持ちを切り替え前向きに空いた時間を有意義に過ごす様にしました。

こんな時だからこそ趣味や運動に時間を使い心身を整えて、又来るであろう好景気時に向けて充電しておきたいと思います。

人生もインフラも充電が大切な時代ですね。

(和38年11月19日生 59歳)

能登本部



保下電気商会
保下 厚

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻、新型コロナウイルス、高止まりが続く物価高などトリプルスリーの世の中で、社会を取り巻く環境が先行き不透明で不安な年でした。

本年で4回目の年男を迎えることができました。体力、筋力は共に20代のころと比べると衰え

を感じる事が多くなりましたが、「考える力」は若い時以上に今も成長を続けているように感じます。先の未来は不透明ですが、これから先も日々努力を怠らずに「考える力」をさらに高めて社業の発展に努めていきたいと思っています。過去を振り返り今までに大病もなく健康で来れたことに、まず『感謝』です。今後も健康第一で頑張りたいと思います。

(昭和50年8月17日生 47歳)

加南本部



田中電機

田 中 哲 弥

新年あけましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれま

しては、素晴らしい年明けを迎えられたことお慶び申し上げます。

昨年の8月の豪雨災害では、自宅は何とか無事だったものの倉庫や車庫が少々ではありますが被災してしまいどうなることかと思いましたが、たくさんの方々のおかげで元通りとまではいきませんが何とかかなり感謝の気持ちでいっぱいです。組合員の皆さまよりの温かいお言葉やお見舞いをいただきありがとうございます。もしや厄年？と思うところもありましたが今は元気に前向きに過ごしております。

電気工事業に携わって以来、無事故で仕事ができるのも組合の皆さま、お客さま、それに家族の協力があってこそ、本当に多くの方々に感謝申し上げます。

また、趣味のバイクでも組合員ライダーの皆さまに声をかけて頂き、楽しくツーリングしたりとプライベートでも楽しい思い出が増えており、改めて人との繋がりは大事なあとと思っている次第です。

還暦を迎えますが、これからも仕事に趣味に健康に気をつけながら過ごしていきたいと思います。

まだまだコロナ禍ではありますが、皆さまには健やかな1年となることを願っております。

(昭和38年1月6日生 59歳)



北光電気川北㈱

中 澤 聡

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の干支は「卯(うさぎ)」

であり、その跳躍する姿からは「飛躍」・「向上」、他にも「成長」の意味も含まれており“新しいことに挑戦するのに最適な年”とされています。

と言う事で、年男の私として、今年の何か新しい事(目標)は……、多々有り過ぎて未だに模索中であります。(^^;)ゞ

さて、国内外問わずして世の中は、まだまだ不安定な要素ばかりですが、家族や従業員、地域や仕事関係、組合や各々の単会や団体等の方々と繋がりを大事にして、この1年を行動、施工等していきたいと考えています。あと、健康にも……。(笑)

本年も変わらぬご交誼のほどお願い申し上げます。

(昭和50年4月13日生 47歳)



(有)矢敷電工

矢 敷 大 輔

新年あけましておめでとうございます。

この2～3年の間、病院に

かかることが少し多くなりました。たいした病気やけがをしているわけではないのですが、健康診断で再検査になったり小さな字が見えにくくなったり、体の衰えを感じずにはられません。

あと、コロナ禍で対面での人との接触が少なくなり、コミュニケーション能力が後退していると感じています。人と会話している時に、頭の中では言わんとしていることは構築出来ているのですが、言葉として出てこないということが増えました。

本年度は心機一転、健康に気を付けて、コミュニケーション向上に努めたいと思います。

(昭和50年4月18日生 47歳)

米沢理事長（全日電工連会長） 旭日重光章受章

令和4年秋の褒章受章者が11月3日に発表され、石川県電気工事工業組合米沢寛理事長（全日本電気工事業工業組合連合会長）が、旭日重光章を受章されました。

旭日重光章は、旭日章のうち、旭日大綬章に次ぐ第二位の勲等の章です。旭日章は、国または公共に対する功労ある者へ、特にその内容に着目し顕著な功績を称えるものとして授与されます。平成15年閣議決定の「勲章の授与基準」では、「特に高く評価される功績を挙げた者に対しては旭日重光章以上」と規定されています。いずれも、各業界において「重鎮」と形容しうる人物が受賞者に選ばれています。この度の受章は、平成23年から全日本電気工事業工業組合連合会長を務め、6期目となり、永年にわたり電気工事業に携わり卓越した指導力と透徹した洞察力により業界の発展に尽力した功績が讃えられました。

我々電気工事業界にとりまして大変名誉なことであり同慶の至りであります。

以下、就任年

平成20年 石川県電気工事工業組合理事長

平成21年 北陸電気工事組合連合会会長

平成23年 全日本電気工事業工業組合連合会長

令和4年度 北陸電力送配電㈱社長表彰

◆20ヵ年無事故無災害優良組合員表彰受賞

〈金沢本部〉



米沢電商㈱
代表取締役社長
中村 栄太郎氏

昭和16年4月金沢市に於いて個人創業、昭和53年3月に米沢電商株式会社を設立し現在に至っている。同社は、北陸電力送配電㈱引込線工事、内線工事施工者、北陸電力㈱のeドクター認定店として一般用電気工作物・自家用電気工作物の設計

施工を現在まで81年間の永きにわたり多くの工事实績があります。また、事業主中村栄太郎氏は、常に従業員と融和を保ち、「より高品質な引込線工事の提供」に努めている。

同社は、電気保安確保と安全作業、施工品質向上を経営の最重点に掲げ、従業員の教育、免許資格取得、安全教育に積極的に取り組み人材育成に力

を注いでいる。関係団体主催の研修会や講習会にも積極的に参加するとともに、新技術を先取りし新分野にも熱意を注ぎ事業拡大を図る等健全な発展を続けている。創業以来、無事故無災害を継続しており、お客様の信頼度も高い。これらに対して、北陸電力送配電㈱石川支社、北陸電気工事組合連合会長より無事故無災害優良組合員の表彰を受賞している。

事業主である中村栄太郎氏は、平成29年より石川県電気工事工業組合総代、令和3年金沢本部青年部長を務め旺盛な熱意で、組合の発展に尽力されている。

一方、地域においては、毎年実施している電気使用安全月間行事での街路灯点検清掃はじめエレキスクールや井戸ポンプ設備点検等ボランティア活動や業界認知活動に積極的に参加している。

〈能登本部〉



エイゲンデンキ
代表
永源 正弘氏

同事業所は、昭和58年3月中能登町に於いて代表の永源正弘氏がエイゲンデンキを創業し、平成元年に石川県電気工事工業組合に加入した。以降事業拡大し現在まで39年に亘り電気工事業を営んでいる。

北陸電力送配電㈱内線工事施工者として安全第一・施工品質向上に努め、一般電気工作物をはじめ、自家用電気工作物の設計施工に於て優良設備工事を続けている。

また、同事業所は、電気保安確保と安全作業を最重点に掲げ、安全教育に積極的に取り組み、人材育成を経営理念に新技術を先取りし新分野にも意

を注ぎ健全な発展を続けている。また現場の自主安全管理活動も確実に遂行し創業以来無災害を継続している。これらに対し北陸電気工事組合連合会長、石川県電気安全協力会七尾地区本部長、七尾内線工事研究会委員会より無事故無災害優秀、優良工事店の表彰を受賞している。

地元に於いても、長年にわたり町づくりの推進と町政の進展に寄与し町の生活環境、美化、犯罪防止等の活動に尽力され、地域住民と一体化し活性化に大いに努めている。

同氏は、平成21年4月より当組合総代、能登本部広報部長となり、電気使用安全月間活動に於て町民と一体化し熱心な言動で一層広報活動を活発化し組合発展のPRに努められた。

令和4年度 北陸電気工事組合連合会長表彰

◆10ヵ年無事故無災害優良組合員表彰受賞

〈金沢本部〉



(有)村田電気工事
代表取締役
村田 英俊氏

永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安確保に努めている。代表者の村田英俊氏は、平成27年5月より石川県電気工事工業組合総代、令和3年5月より理事（河北支部長）として組合員の指導及び業界の発展に尽力している。



中京電設㈱
代表取締役
中山 和彦氏

永年にわたり無事故を継続し、かつ電気保安確保に努めている。代表者の中山和彦氏は、平成25年5月から2年間理事（白山支部長）として、また、平成25年5月より石川県電気工事工業組合総代として組合員の指導及び業界の発展に尽力している。

〈能登本部〉



ながの電機㈱
代表取締役
永野 睦夫氏

同事業所は、北陸電力送配電㈱の引込線工事施工者として、安全作業を第一に施工品質の向上に努め無事故無災害を継続している。

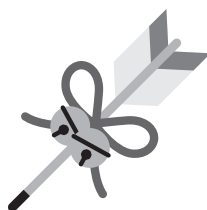
代表取締役の永野睦夫氏は、常に安全意識の高揚を呼びかけ、作業安全面・自主安全活動に積極的に取り組んでいる。また200V機器の販売において他の模範となり、積極的に促進を行った。



堀井電器店
代表
堀井 一和氏

同事業所は、安全管理に留意し永年に亘り無事故無災害を継続している。

代表の堀井一和氏は、平成18年度から平成22年度まで当組合能登本部内線安全委員として夏期・冬期安全月間中の安全パトロールを実施し作業安全面、自主安全管理活動に積極的に取り組み、その実績により七尾内線工事研究会委員会などより優良電気工事店表彰を受けている。



〈加南本部〉



松本電機(株)
代表取締役
松本 賢一氏

同事業所は、北陸電力送配電(株)の外線工事施工者として安全作業を第一に施工品質の向上に努め無事故無災害を継続し他の模範となる優秀な事業所であります。

加南本部では、平成18年総代に就任以降、配電委託・安全を中心とする事業活動

や運営に尽力しながら役員として同本部事業全般の活性化に寄与しています。

また、平成20年からは県監事として組合会計の適正運用を監視しつつ諸課題にも精力的に取り組んでいます。



(有)平専電工
代表取締役
辻 秋浩氏

同事業所は、北陸電力送配電(株)の引込線工事施工者として安全作業を第一に施工品質の向上に努め無事故無災害を継続し他の模範となる優秀な事業所であります。

加南本部では、平成18年総代に就任以降、配電委託・

安全・企画経営を中心とする事業活動や運営に尽力しながら役員として当本部事業全般の活性化に寄与しています。

令和4年度 石川県優良建設功労者知事表彰

〈金沢本部〉



立野電気工事(株)
代表取締役
米澤 直明氏

米澤直明氏は若くして電気工事業を継承し、電気工事技術を学び、技術者として自ら多くの工事を完成させるとともに、後進にもその卓越した技術を伝授し、建設技術の向上に大きく貢献している。

また、同氏は、平成21年5月より当組合県本部及び金沢本部の役員に就任し、旺盛な熱意と卓越した指導力で組合事業に積極的に取り組み、平成27年から常務理事として組合電設委員会委員長を務め組合発展と組合員育成に尽力している。

これらの功績に対し、石川県中小企業団体中央会会長、北陸電気工事組合連合会会長をはじめ数多くの表彰を受けている。



●●●●●各本部だより●●●●●

金沢本部

10月3日 県企画委員会
10月12日 外線中堅社員教育（更新）
10月13日 健康診断（予防医学協会）
10月14日 健康診断（予防医学協会）
10月18日 県青年部経営講習会



10月19日 健康診断（予防医学協会）
献血 （予防医学協会）
10月20日 健康診断（予防医学協会）
10月24日 活線認定（新規）教育
10月25日 活線認定（新規）教育
青年部役員会
10月27日 配電工事技能競技会（富山）
10月28日 県広報委員会
10月29日 外線・引込線合同部会（山代）
11月9日 電気安全協力会委員会（電力）
11月15日 計測器照合試験（下期）

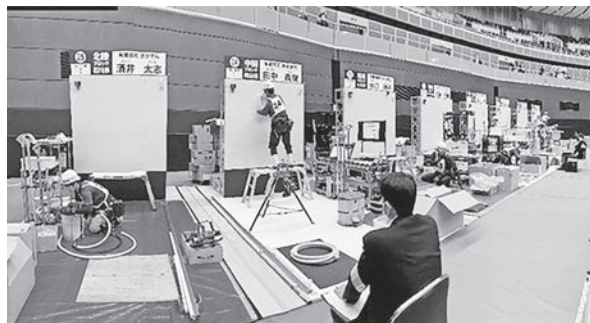


11月16日 計測器照合試験（下期）
監事会
11月17日 計測器照合試験（下期）

11月21日 無停電2級教育
11月22日 無停電1級教育
11月24日 青年部役員会
11月26日 第一種電気工事士（技能）受験講習



11月27日 第一種電気工事士（技能）受験講習
11月28日 常務会
11月30日 電気工事技能競技会全国大会
学科競技（横浜）



内工研幹事会

12月1日 電気工事技能競技会全国大会
技能競技（横浜）
12月2日 全国青年部会員大会（東京）



12月5日 県役員会（松魚亭）
12月6日 内線特別安全パトロール
12月13日 北陸連合会安全大会（富山）
12月14日 本部役員会（金沢東急ホテル）

12月15日 石川県立工業高校生との意見交換会
12月22日 北青協役員会
12月29日 仕事納め

能登本部

10月1日 第一種電気工事士試験（筆記）受験準備講習会
10月3日 企画委員会（於：県本部）
10月7日 支部長会議、役員会
10月12日 内線工事施工者昇降柱訓練（七尾会場）
10月13日 内線工事施工者昇降柱訓練（能登会場）
10月14日～28日 間接活線工具耐電圧試験
10月19日～21日 羽咋工業高校生インターンシップ受入 8社
10月24日～25日 活線認定教育（於：県本部）
10月27日 北陸電気工事組合連合会配電工事安全技能競技大会（於：北電研修センター）
10月28日 広報委員会（於：県本部）
〃 安全協力会交差パトロール
11月9日 外線工事事業主会議
11月16日 監事会（於：県本部）
11月16日～30日 高所作業車耐電圧試験
11月21日 令和4年度新規無停電認定（2級）教育（於：県本部）
11月22日 令和4年度新規無停電認定（1級）教育（於：県本部）
11月24日～25日 能登本部倉庫改修工事重量ラック工事
11月26日～12月10日（毎土曜日）
第一種電気工事士試験（技能）受験準備講習会



11月28日 常務会（於：県本部）
11月30日～12月1日 電気工事技能競技全国大会見学兼研修旅行
（於：横浜アリーナ他）



12月5日 県役員会（於：松魚亭）
12月6日 内線工事安全パトロール



12月13日 北陸電気工事組合連合会配電工事安全大会（於：富山市）

20ヵ年無事故無災害優良組合員北陸電力社長表彰

受賞 永源正弘氏（エイゲンデンキ）

10ヵ年無事故無災害優良組合員北陸電気工事組合連合会長表彰

受賞 永野陸夫氏（ながの電機㈱）

堀井一和氏（堀井電器店）

12月14日、15日 平成4年度新規配電自動化工事者認定教育（於：県本部）

12月29日 組合仕事納め

加南本部

10月4日～5日 定期健康診断(生活習慣病健診)
254名受診

10月6日 発電機車操作訓練 外線施工者

10月11日～13日 計測器・トルクドライバー校正試験 小松支部：51社

10月11日～13日 活線防保護具耐圧試験
（内線施工者）

10月19日 第2回執行部会
組合運営諸般について

10月22日 第75回北電工組親睦ゴルフコンペ
14名参加

片山津ゴルフ倶楽部西コース

10月24日 小松市管財課との意見交換会
小松支部6名

10月24日～25日 活線作業員認定教育

10月26日 役員奉仕作業 17名参加

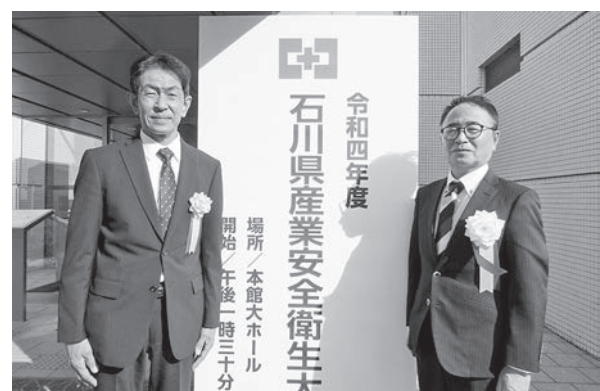


10月26日 第2回役員会
組合運営諸般について

10月27日 連合会 配電工事安全技能競技会

10月27日 石川県産業安全衛生大会
石川県労働基準協会会長表彰
功績賞 松本電機㈱

代表取締役 松本賢一



10月28日 石川県電気安全協力会 交差パトロール
七尾市中島町鹿島台地内(北電工現場)

11月4日 小松支部世話人会

11月7日～11日 高所作業車耐圧試験

11月7日～11日 圧縮工具圧力試験

11月11日 小松支部地区別合同懇談会
ホテルビナリオ KOMATSU セントレ



11月21日～22日 配電無停電機材取扱者1級・
2級認定教育

12月5日～9日 4回
第一種電気工事士技能試験講習

12月6日 内線工事特別安全パトロール
加南本部管内 金沢本部パトロール員
加南パトロール員 能登本部管内パトロール

12月13日 北陸連合会配電工事業者安全大会
10ヵ年無事故無災害優良事業所表彰
松本電機(株)・(有)平専電工

12月29日 組合業務仕事納め



●●●●● 青年部だより ●●●●●



県青年部長

安 部 良

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては穏やかな初春をお迎えることとお慶び申し上げます。

日頃より青年部活動に対して多大なるご支援ご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

さて、青年部の活動といたしまして昨年創立40周年を迎えました。その大きな節目に電気工事業界や組合についての未来を考え、3本部一体となって活動すべく次の50周年に向けての活動指針と新たなスローガンを掲げました。

「ONE TEAM 挑戦し続ける青年部

～想いを JOINT 未来へ CONNECT～」

このスローガンをもとに次の50周年に向けて様々な活動に挑戦していきます。

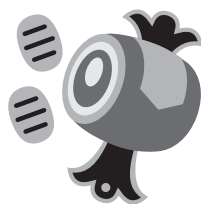
本年度も青年部活動に対して、ぜひご理解ご協

力を賜りたくお願い申し上げます。

また昨年12月1日に第4回電気工事技能競技全国大会が横浜アリーナで開催されました。石川県からは(有)さかでん 酒井太志君、(株)鳴和電気商会 桑本大地君が出場しました。結果は入賞こそ出来ませんでしたが、選手は大会まで毎日夜遅くまで練習に励み、大変な努力をされました。全国各工組代表選手が自慢の技を競い合う姿は、まさに電気工事士の甲子園と呼ぶに相応しい大会でした。選手の皆様、感動をありがとうございました。

県青年部は今年も色々な事にトライして、この新しい年が、より佳き年になるよう心より祈念致しまして、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

皆様、本年もよろしくお願いいたします。



●●●●●各本部青年部だより●●●●●



金 沢本部

青年部長

中 村 栄太郎

新年明けましておめでとうございます。

皆様方におかれましては健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

石川県青年部は創立40年を迎え、記念式典を3本部の結束により開催し、新たなスタートを切る事が出来ました。親会様をはじめ、協力して頂いた青年部員の皆様に改めて感謝申し上げます。

さて、金沢本部青年部の活動は昨年引き続き滞る事もなく、オンラインを併用した役員会もすっかり定着しました。試験的に青年部公式LINEを運用し、役員会や行事案内の配信、組合HPへのアクセス向上を図りました。時代に合わせ考え、活動していただいた青年部員の力添えに感謝します。

やむなく中止した活動はありましたが、3本部合同でエレキスクールを開催する事で業界PRだけでなく、青年部員の横のつながりを感じる事が出来ました。

また、昨年に引き続き、高校生ものづくりコンテスト電気工事部門で県立工業高校の生徒を指導しました。技術が先輩から後輩へ継承され、出場した2名の選手が石川県代表として北信越大会に出場する様は感慨深いものでありました。

本年も業界の将来を考え、青年部員の横のつながりを大切にして、活動を実施していきます。引き続き青年部活動にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



能 登本部

青年部長

薄 井 克 弘

新年あけましておめでとうございます。

組合員皆様におかれましては、新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのお力添えいただき誠にありがとうございました。

コロナが流行して3年が過ぎようとしています。少しずつ活動が再開されてきました。

7月には県青年部40周年記念式を開催する事が出来ました。昨年からの金沢本部、加南本部の青年部と一致団結し、コロナ禍の中、オンライン等を活用し打ち合わせを重ね無事開催できた事は感慨深いものでありました。

能登青年部におきましてもエレキスクールが2年連続中止になっていましたが、今年は開催する事ができました。小学生親子と交流し、楽しさそうな顔を見ることが出来た事は部員の今後の活動のモチベーションになったと思います。

今後の活動は、高校生との意見交換会を開催する予定となっています。コロナが1日でも早く終息し、マスクの必要の無い日常に戻る事を願っています。

最後になりますが、能登青年部一同、更なる青年部活動の向上に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご指導またご支援のほどお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



加南本部

青年部長

山 本 威

新年、あけましておめでとうございます。

組合員の皆様、そして関係者の皆様におかれましては、新春の清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は多くのお力添えをいただき誠にありがとうございました。

昨年は県青年部40周年という節目の年でした。金沢本部、能登本部そして加南本部の3本部の青年部が連携・団結して7月16日の記念事業を開催することができました。先輩方がこれまでに築きあげてきたことを知り、今我々が向き合っていることを考え、これからの青年部活動の指針となる理念を語ることができたと感じています。

加南本部青年部におきましてもエレキスクールを3年ぶりに開催することができました。参加人数の制限もかけながらも参加していただいた児童と電気についての学び、そして工作を楽しむことができました。今回は金沢、能登、加南の3地区同日開催というちょっとした試みを実行しました。この試みを一つのきっかけとして今後の青年部活動へさらに生かしていければと思います。

最後になりますが今年も、皆様と一日でも早く明るい話題を共有できるように、そしてこの新しい年が組合員の皆様、関係者の皆様そして我々青年部員にとって、より良き年になるよう心より祈念し、今後とも変わらぬご支援のほどお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



第4回 電気工事技能競技全国大会

11月30日(水)に準備及び学科競技と制御盤組立競技がいずれも非公開で、翌12月1日(木)に技能競技が公開競技として、横浜アリーナで開催された。また、初の試みとしてオンライン配信もされた。前回号でもお知らせしたが、石川県代表として、金沢本部兼六支部の(有)さかでん 酒井太志さん、北陸ブロック代表として金沢本部兼六支部の(株)鳴和電気商会 桑本大地さんが出場した。

結果は、一般の部出場53人中約半数が完成しない難しい課題のなか、入賞には至らなかったものの本大会まで毎日夜遅くまで練習に励んでいた。

審査の結果、入賞は以下の通りとなった。

金 賞 (経済産業大臣賞)

鹿山 真史 (有)鹿山電気商会 (東北・福島)

銀 賞 森田 貴久 堤電気(株) (九州・佐賀)

尾崎 歩 (株)ケンコウ (中国・広島)

銅 賞 佐藤 優磨 (株)平成電設 (東北・岩手)

川部 哲平 岡田電工(株)鳥取営業所 (中国・鳥取)

吉田 三四郎 (株)京真電設 (九州・大分)

敢 闘 賞 中居 渉 (株)堀電気 (北海道)

吉村 陽平 (株)有馬電設 (九州・鹿児島)

徳永 真成 日東電気工業(株) (北海道)

福富 競太 徳真電機工業(株) (四国・徳島)

安全作業大賞 橋口 健太 こばた電設(株) (九州・長崎)

また、女性の部と高校生の部も同時に行われた。今回から工業高校生の視点から作業する姿や立ち居振る舞いを評価ポイントに投票で選ばれる『素敵な先輩で賞』に福井県、(株)NYUTECの立木朋子さんが選ばれ、北陸勢唯一の入賞となった。

次回は2年後に行われる。腕に自信のある者の出場を期待する。組合では今後も強力にバックアップをしていくつもりだ。

11/30 準備、会場風景



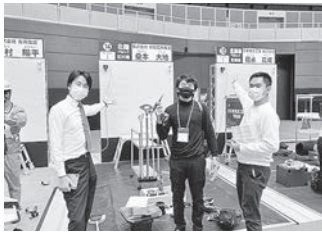
オリエンテーション



設営風景①



設営風景②



設営完了!!



開会式リハーサル



選手写真撮影

12/1 大会当日



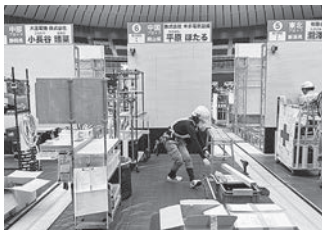
開会式



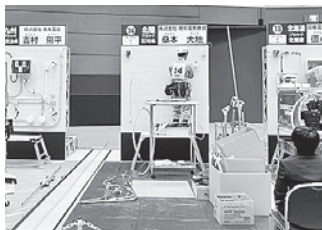
競技開始前



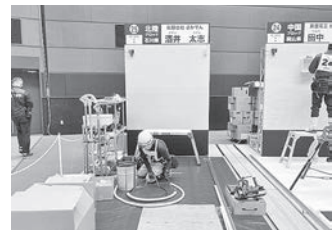
競技開始前



女性の部



桑本大地選手



酒井太志選手



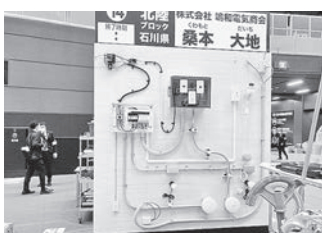
今村競技員（審査員）



会場風景



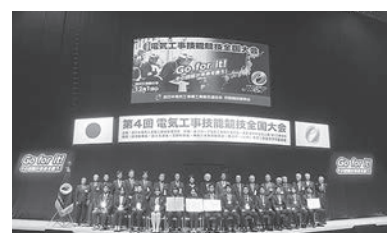
競技終了会場全景



桑本選手作品



酒井選手と作品



受賞者全体写真

第5回 全国青年部会員大会

電気工事技能競技全国大会の翌日の12月2日(金)、東京ポートシティ竹芝において、全国から500名を超える青年部員が一堂に会し、交流を深めた。テーマを「共創と新化」～明るい未来に向け魅力を深める青年部～とし、大会式典のあと、意見交換会を実施した。

大会式典では、優良活動発表会があり、参加した青年部員は今後の活動の参考とすべく、真剣な眼差しで発表に聴き入っていた。

また、同時に行われた「無資格者施工撲滅！電気工事士資格取得応援キャンペーンポスターコンテスト投票」において、安部良県青年部長の娘さんが書かれた作品が優秀賞を受賞した。今後、電気工事業界発展のための啓発活動に使われる予定である。



主催者挨拶



来賓祝辞



優良活動発表表彰式

意見交換会



第5回 北陸電工連青年部連絡協議会 会員大会

11月5日(土)、ザ・グランユアーズフクイ（福井市）で北陸3県の青年部員が一堂に会し、第5回目となる北陸電工連青年部連絡協議会会員大会を開催した。大会テーマは『北陸創造～Create the future～』とし、3県の青年部員が相互交流し、電気工事業界の一層の発展に努力することを誓った。

当日は第一部として、土井梨津子氏を講師に迎え、「お客様にも部下からも愛されるリーダー力」と題し講演があり、ワクワクする言葉（ビジョン）が大切などとアドバイスがあり、参加者はメモを取りながら、聞き入っていた。

第二部として式典があり、米沢理事長（北陸電工連会長として）や富山、福井電工組の理事長の他、北陸電力福井支店長および丹南支店長、北陸電力送配電福井支社長、全国青年部協議会会長をはじめ全国から青年部や女性部の役員が集まり華を添えた。

また、第三部の懇親会では、各県青年部の活動を紹介する1分動画を流した。次回は富山県内で開催される予定だ。



全日電工連の生命保険

グループ共済制度

病気 災害 24時間保障!
業務外 業務上

加入年齢範囲の拡大!

経営者おすすめコースの新設!

制度の推進を
承っております
幹事会社住友生命
より、訪問の上、
詳しい説明をさせ
ていただいております。

2023年度版(概算掛金) 全日電工連の生命保険 (災害保障特約付 団体定期保険[契約概要・注意喚起情報])

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください

全日電工連 グループ共済制度のご案内

＼組合員の皆様が安心して働ける環境づくり、大切な事業の継続に役立つ保険です。／



＼従業員の皆さま／
手頃な掛金で充実保障!
安心・安全な職場環境づくりに役立ちます。



＼経営者の皆さま／
大切な事業の継続に備える
「経営者おすすめコース」が役立ちます。
(最高3000万まで加入・増口可能)

掛金の年齢区分を見直しました。

2023年
リニューアル

若年層・ミドル層の皆様にもさらに加入しやすい掛金になりました!
幅広い世代の皆様を手厚くお守りします!

	15歳	50歳	60歳	70歳	80歳
2022年度 月額掛金 (確定)	360円	560円	1,310円	1,310円	
2023年度 月額掛金 (概算)*	320円	500円	1,380円	1,380円	

主契約保険金額
100万円(1口)
あたりの掛金
(掛金イメージ)

*2023年度月額掛金は概算掛金です。実際の掛金は申込締切後に確定するため記載の掛金とは異なる場合があります。掛金は毎年更新日に見直しされます。

新規加入年齢75歳まで

全日本電気工業労働組合連合会

〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5861 FAX 03-5232-6855 E-MAIL: zennichi@znd.or.jp

本パンフレットは次回更新日まで大切に保管してください。

品名コード 102-251 CG2022-0330

※ご加入にあたっては
こちらのパンフレットを必ずご覧ください。



全日電工連グループ共済制度幹事会社
住友生命保険相互会社
金沢支社

〒920-8632 石川県金沢市上堤町1-18
住友生命金沢上堤町ビル7F

TEL 076-231-1283

あなたの未来を強くする



石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2022年7月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度（業務中のケガと病気補償） 【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約なので個別にご加入いただくよりも割安です。
※50事業者以上の場合：事業者数割引が15%適用されます。
2. 従業員の方々からの**個別健康告知は不要**です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出します。
4. 保険料は**全額損金処理が可能です**。

※法人が契約者として、従業員全員（役員を含みます。）のために負担する保険料は全額が損金扱いとなります。

（法人税基本通達9-3-5.9-3-6の2を準用 2022年 5月現在）

5. 業務中の**地震によるケガも補償**します。

（地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合）

6. 高額化する労災訴訟への備えとして、
最高5億円(※)までの損害賠償責任に対応!

※損害賠償保険金の支払いにあたっては、労災保険の請求結果が必要です。

（注）事業内容によっては引受限度額が1災害最高3億円になります。

※弁護士費用等の争訟費用も補償します。

※この広告では保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

◎このような場合に保険金をお支払いいたします。



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

（受付時間）午前9時～午後5時（土・日・祝日・年末年始を除く）
（営業種目）自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社



AIG 損保

AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号：D-005997(2023-07)

全日電工連認定損害保険制度の概要

全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費（保険料）で皆さまの経営を支えます。

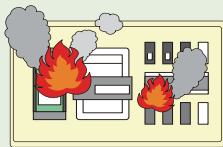
物への補償

人への補償

ご自身の損害

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなった。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

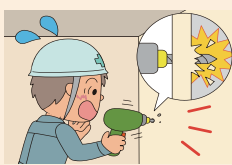
第三者の損害

第三者損害賠償制度

第三者（他人）の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし通行人にケガをさせた。

● 組合事務局日誌 ●

- | | |
|--|---|
| 10月3日 企画委員会 | 21日 企画委員会・経済講演会
(石川県中小企業団体中央会)
新規無停電機材取扱者2級認定教育 |
| 4日 DX技術拡充推進チーム会議
(全日電工連)
配電小委員会(北陸電気工事組合連合会) | 22日 新規無停電機材取扱者1級認定教育 |
| 12日 配電専門能力育成教育(～14日迄)
(北陸電気工事組合連合会) | 24日 取締役会(全日電工連サービス) |
| 17日 技術・認証委員会(全日電工連) | 28日 常務会 |
| 20日 支部理事会(労保連石川支部) | 30日 理事会(全日電工連) |
| 24日 新規活線(近接)認定教育(～25日迄) | 12月1日 第4回電気工事技能競技全国大会
(全日電工連) |
| 27日 配電工事安全技能競技会
(北陸電気工事組合連合会) | 2日 第5回全国青年部会員大会
(全日電工連) |
| 28日 広報委員会 | 5日 役員会 |
| 11月5日 北陸電工連青年部連絡協議会会員大会
(北陸電気工事組合連合会) | 6日 内線工事特別安全パトロール |
| 8日 競技員・技能競技委員会 第2回合同
会議(全日電工連) | 13日 常務会・第39回配電工事業者安全大会
(北陸電気工事組合連合会) |
| 10日 ヒューマンスキル育成(中堅層)教育
(～11日迄)(北陸電気工事組合連合会) | 14日 配電自動化工事資格者認定教育
(～15日) |
| 16日 監事会 | 16日 三役会議・移動理事会・全国理事長会
(全日電工連) |

こうほう 第157号

発行 2023年1月1日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



届けるのは、 北陸を愛するエネルギー。

暮らしによりそい、電気をお届けしつづける使命とともに
未知の領域に、勇気を持って挑んでいく。

一人ひとりの熱い思いが、電気の流れる「道」をつくる。

未来へ、めぐらせる。

 北陸電力送配電